

概要: 気候変動の影響等により、大雨等が頻発し、内水氾濫が発生するリスクが増大していることから、近年浸水実績がある等、浸水被害の危険性が高い地区において、浸水被害の防止・軽減のための雨水排水施設など下水道による都市浸水対策を実施する。

府省庁名: 国土交通省

【事例】浸水被害軽減事業

- 実施主体: 久慈市
- 実施場所: 岩手県久慈市
- 事業概要: 令和元年台風第19号では、内水氾濫により、久慈市内で床上浸水483棟、床下浸水627棟などを含む甚大な被害が発生。そのため、浸水被害の危険性が高い地区3箇所(田高、新井田、十八日町)について、浸水の早期解消を目的として雨水ポンプ場を整備している。
- 事業費: 全体事業費19.8億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)10.8億円)
- 効果: 雨水ポンプ場の整備により、10年確率降雨(47.5mm/h)の内水氾濫の軽減を図る。

